



# うしおだしょうがっこう 国際教室訪問記

## うしおだYY卒業式 ～外国につながる子どもたちの巣立ち～

さわやかな風が吹く 5月15日、鶴見国際交流ラウンジで学習支援をするボランティアと日本語を指導する方々が潮田小学校を訪問しました。まず国際教室で指導されている若木先生から学校の歴史や具体的な取り組み、状況を伺った後、外国につながる子どもたちが主役の、うしおだYY卒業式の収録ビデオを拝見しました。

### 多文化共生の学び舎

潮田小学校には、全校生徒の約21、8%に当たる 156人の外国につながる児童がいます。つながる国も、ブラジル、中国、台湾、フィリピン、ペルー、韓国、朝鮮、ポリビア…と、20ほどの国・地域になります。こうした環境で学ぶ全児童が互いを認め、よさを知り、支え合う心を育てていけるように、全校を挙げて取り組んでいます。潮田小学校は、まさに多文化共生の学び舎です。



若木徹也先生

### 一人ひとりの思いを大切に

先生方がとりわけ大切にされているのは、児童や保護者の方々の思いです。例えわずかな時間でも、インターホン越しであっても、触れ合いを通して生の声を聞き、思いを知って理解を深めたい、と願われているのです。本人が語らなくても、触れ合うことで児童が置かれている状況や背景の一端を感じ取ることもあるそうです。

### 国際教室とうしおだYY

国際教室では、日本語指導で終わらず、「分かった」と喜びを味わえるように、学習支援を通して一人ひとりに寄り添っています。また20数年前からは、子どもたちが各国の遊びや料理などを通して自分のつながる国の良さや文化を実感できるように、先生方全員と保護者の方々が参加する、うしおだYYが行われています。お母さん方が大活躍するイベントは、ダンスあり、手料理ありで、とても盛り上がり、子どもも大人もそれは楽しいひとときを共有するそうです。

### YY卒業式で自分の経験や思いを発表

六年生は、迎えるうしおだYY卒業式に向けて、先生方のご指導の下で「わたしのつながる国」をテーマに日本語で作文を書きます。練習を重ねて迎えた当日、在校生の前で緊張気味に発表する一人ひとりからは、不安や寂しさを乗り越えた喜び、支えてくれた人や周りへの感謝、将来の夢など、素直な思いが伝わってきました。

子どもたちの育ってきた環境はさまざまです。日本で生まれ育った子もいれば、来日して日が浅く、日本語があまり理解できない子もいます。友達ができるか不安だった児童は、同じ中国から来た子に算数を教えてもらい、自分も他の子に教えるようになって学校が好きになったそうです。中学校でも友達を大事にしたい、とうれしそうに語りました。